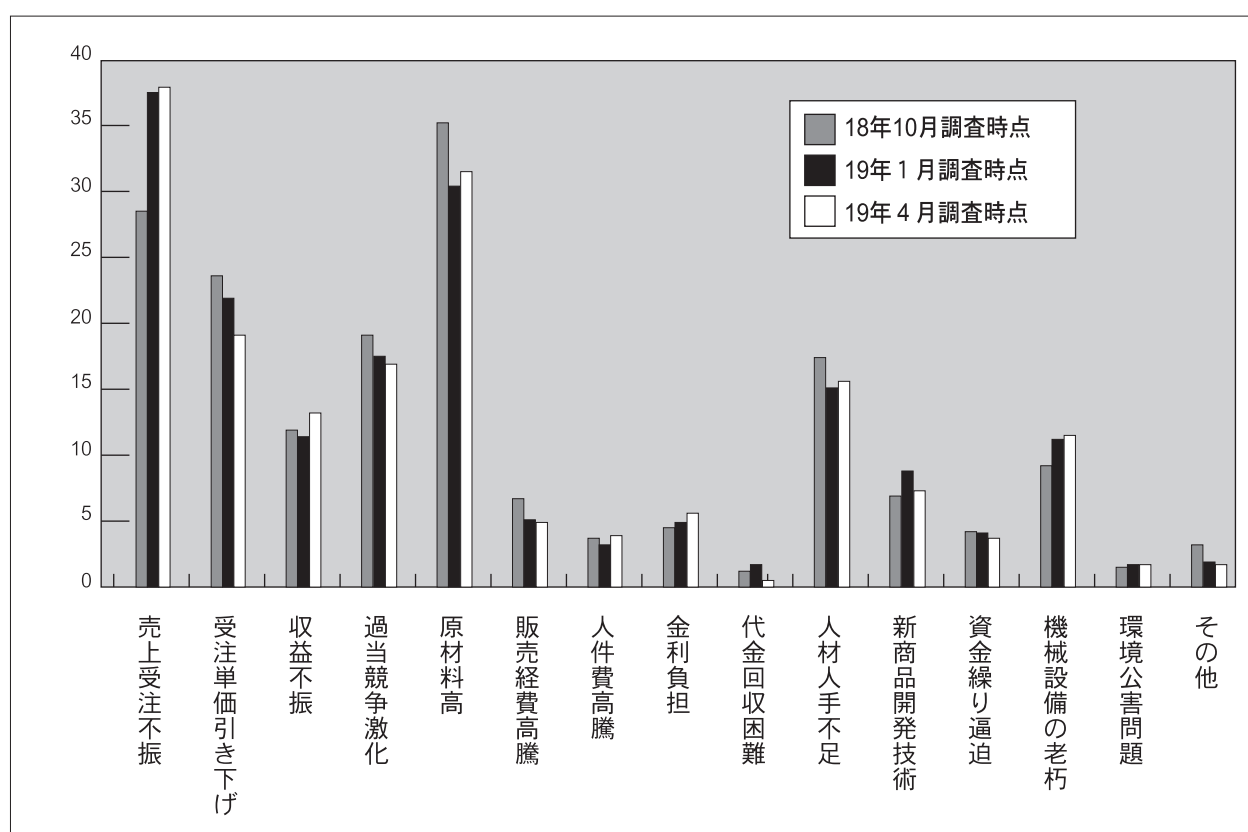


IX. 当面の経営上の問題点

(%:複数回答あり)

	18年10月 (前年)	19年1月 (前回)	19年4月 (今回)	19年4月		前回比増減
				(うち製造業)	(うち非製造業)	
売上受注不振	28.5	37.5	37.9	(32.5)	(42.7)	0.4
受注単価引き下げ	23.6	21.9	19.1	(18.3)	(19.7)	-2.8
収益不振	11.9	11.4	13.2	(13.6)	(12.8)	1.8
過当競争激化	19.1	17.5	16.9	(9.4)	(23.4)	-0.6
原材料高	35.2	30.4	31.5	(44.5)	(20.2)	1.1
販売経費高騰	6.7	5.1	4.9	(1.0)	(8.3)	-0.2
人件費高騰	3.7	3.2	3.9	(2.6)	(5.0)	0.7
金利負担	4.5	4.9	5.6	(4.2)	(6.9)	0.7
代金回収困難	1.2	1.7	0.5	(1.0)	(0.0)	-1.2
人材人手不足	17.4	15.1	15.6	(14.7)	(16.5)	0.5
新商品開発技術	6.9	8.8	7.3	(12.0)	(3.2)	-1.5
資金繰り逼迫	4.2	4.1	3.7	(2.1)	(5.0)	-0.4
機械設備の老朽	9.2	11.2	11.5	(14.1)	(9.2)	0.3
環境公害問題	1.5	1.7	1.7	(1.0)	(2.3)	0.0
その他	3.2	1.9	1.7	(2.1)	(1.4)	-0.2



- 今回の調査の全産業での当面の経営上の問題点をみると、①売上受注不振37.9%(前期比+0.4ポイント)、②原材料高31.5%(前期比1.1ポイント)、③受注単価引き下げ19.1%(前期比▲2.8ポイント)の順となっている。
- これを製造業と非製造業に分けてみると前回アンケート同様、製造業では原材料高44.5%(前期比+2.1ポイント)、非製造業では売上受注不振42.7%(前期比▲0.5ポイント)の割合が高くなっている。
- 今回調査では収益不振が前期比1.8ポイント増加し13.2%となった。特に製造業では前回調査を2.5ポイント上回り13.6%となった。
また、非製造業では過当競争激化が2.1ポイント増加し23.4%となっている。